



昨年の最初に確認されたカルガモの親子 2022/6/8 撮影

6月のおすすめ カルガモの親子

6月は鳥たちの子育てシーズン真っ只中です。水鳥公園は、野鳥にとって住み心地が良い一方で天敵も多く、抱卵中の巣がカラスに襲われることがよくあります。天敵の目をかいくぐって子育てに励むたくましい母親と、可愛いヒナたちの姿を是非、観察にお越しく下さい。

通常ならば5月下旬ごろから見られますが、昨年は前年よりも19日も遅い6月8日が初認日でした。

2023年3月30日～5月16日に見られた鳥

キジ、(コブハクチョウ)、コハクチョウ、ツクシガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、マガモ×カルガモ、カルガモ、ハシロガモ、オカガモ、シマアジ、トモエガモ、コガモ、コガモ×アメリカコガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハシロカイツブリ、キジバト、カワウ、ウミウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、クイナ、ヒクイナ、バン、オオバン、アマツバメ、コチドリ、セイタカシギ、オオジシギ、タシギ、シベリアオオハシシギ、オグロシギ、オオハシシギ、チュウシャクシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、タカブシギ、キアシシギ、ソリハシギ、イツギ、キョウジョシギ、コオハシギ、トウネン、ハマシギ、ユリカモメ、スグロカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、ハイロチュウヒ、ハイタカ、オオタカ、カケシ、アリスイ、コチョウゲンボウ、コゲラ、ハブササ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ショウトウツバメ、ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、オオヨシキリ、セッカ、ヒレンジャク、シハラ、ツグミ、亜種ハチジョウツグミ、ノコマ、ジョウビタキ、コサメビタキ、スズメ、ツメナガセキレイ、ハクセキレイ、カラビワ、ホオジロ、ホオアカ、カシラダカ、アオジ、(ソウシヨウ)

合計：97種類・亜種1種類、交雑2

※下線太字は注目の鳥、()は外来種。



←
ネイチャーセンターのすぐそばに現れたオオジシギ
2023/4/9 撮影

今月のNEWS

当たれば幸運、ツバメの日！

2023年4月16日に、ネイチャーセンター観察ホールの窓辺に、ツバメが多数並びました。このような光景は毎年見られますが、いつ見られるのかは予測がつかないので、その場に居合わせた方は大変幸運です。

なお、4月から5月上旬は成鳥が、5月下旬から6月は幼鳥が並びます。



昆虫ホテルを開設！

2023年4月19日に、園内の4か所で「昆虫ホテル」を開設しました。これは、均等な長さに切って穴を開けた、様々な太さの木の枝を積み重ねて、その隙間に昆虫が隠れるようにしたものです。初の試みなので、これからどんな昆虫が住み着いてくれるのか楽しみです。



6月のイベント情報

水鳥公園のイベントの参加には入館料が必要です。表示があるものを除き、会場・集合場所は水鳥公園ネイチャーセンターです。下記の催しは、とっとり県民カレッジ連携講座です。

6月10日(土)13:30~15:00 ※5/26(金)9:00から受付開始

自然観察会「野鳥の子育てを観察しよう！」

内容：園内で子育てに励んでいる鳥たちの様子を観察します。また、園内のどんな場所で子育てをしているのかも、特別にご案内します。

対象：小学生以上がおすすめ。定員12名・要予約
参加費：無料（入館料は必要です）



6月18日(日)10:00~12:00 ※6/2(金)9:00から受付開始

手作り自然教室「江戸の玩具紙つばめを作ろう！」

内容：ひもを回すと尾がカラカラと音を立てて回転し、つばめが羽音をたてて飛んでいるように見える昔の玩具を、紙と竹で作ります。

対象：定員8組16名・要予約・
小学3年生以下は保護者同伴が必須。
参加費：500円



この春に飛来した興味深い鳥たち



ヒレンジャク 4/22



シベリアオオハシギ 4/27



キョウジョシギ 4/28



コオハシギ 4/29

お申し込み・お問い合わせ先：米子水鳥公園ネイチャーセンター

〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田665 TEL:0859-24-6139 FAX:0859-24-6140

<http://www.yonago-mizutori.com>

●開園時間：9:00~17:30(11月~3月の土・日・祝日は、7:00から開園)

●入館料：高校生以上70歳未満：310円（年間パスポート1,500円）
中学生以下および70歳以上：無料

●休園日：毎週火曜日（祝日を除く）および祝日の翌日（土曜、日曜を除く）、12/29~12/31

